

未来を生きる 笑顔のために

特集



写真は松野小1年の授業の様子

子どもたちが学び成長する場“学校”。市教育委員会は小中学校適正配置計画に基づき、学校統合の検討を行っています。未来を生きる子どもたちの笑顔のため、学校のこれからを一緒に考えてみませんか。問い合わせ先 教育総務課(☎・内線1361)

表2 令和7年4月1日現在の児童数 [単位:人]

学年	合計	6年	5年	4年	3年	2年	1年
小学校【学級数】	(H25生)	(H26生)	(H27生)	(H28生)	(H29生)	(H30生)	
大更【12学級】	326	48	55	64	61	47	51
田頭【5学級】	49	2	10	9	9	11	8
平笠【4学級】	35	11	4	5	4	7	4
西根中学校区	410	61	69	78	74	65	63
平館【6学級】	93	12	22	14	11	13	21
寺田【5学級】	43	8	11	7	5	8	4
西根第一中学校区	136	20	33	21	16	21	25
松野【6学級】	75	15	12	14	17	10	7
寄木【5学級】	51	14	11	13	4	4	5
柏台【3学級】	25	9	3	4	1	7	1
松尾中学校区	151	38	26	31	22	21	13
安代【6学級】	85	14	12	16	16	14	13
田山【3学級】	21	10	0	3	2	4	2
安代中学校区	106	24	12	19	18	18	15
3学区計	803	143	140	149	130	125	116

表2・表3中、学年の下に記載の()書きは、子どもの生まれた年度を示す。複式学級は 表記を追記した。表3に記載の学級数は、児童数推計に基づき、1学級35人定員および複式学級の編制見込みを加味し表記した。

表3 令和13年4月の児童数(推計) [単位:人]

学年	合計	6年	5年	4年	3年	2年	1年
小学校【学級数】	(R元生)	(R2生)	(R3生)	(R4生)	(R5生)	(R6生)	
大更【9学級】	232	50	41	52	26	33	30
田頭【5学級】	45	9	11	6	10	6	3
平笠【3学級】	11	4	1	2	2	1	1
西根中学校区	288	63	53	60	38	40	34
平館【5学級】	62	17	5	13	8	7	12
寺田【3学級】	16	3	4	1	6	2	0
西根第一中学校区	78	20	9	14	14	9	12
松野【5学級】	45	8	8	5	14	8	2
寄木【3学級】	22	9	3	5	3	1	1
柏台【3学級】	16	2	2	4	4	2	2
松尾中学校区	83	19	13	14	21	11	5
安代【5学級】	48	9	10	12	7	8	2
田山【3学級】	13	4	3	3	0	1	2
安代中学校区	61	13	13	15	7	9	4
3学区計	510	115	88	103	80	69	※3 55

平成31年4月から令和2年3月までの出生数を含め「(R元生)」と表記した。複式学級の編制が見込まれる学年には 表記を追記した。

表4 市立小学校の学校規模

学校規模	学校数
過大規模校(31学級以上)	0校
大規模校(19～30学級)	0校
標準規模校(12～18学級)	1校
小規模校(6～11学級)	3校
過小規模校(5学級以下)	6校

7年4月現在、特別支援学級を除く

市教育委員会は、小中学校の教育環境について、検討した結果をまとめた第3期小

未来を見据え配置計画を策定

全国的な少子化は本市も例外ではなく、国が示す学校規模の標準である「12～18学級」の学校(標準規模校)は、市内では大更小(表2・4)のみとなっています。また、市の出生数は、平成18年度が204人であったのに対し、令和6年度は57人(※2)にとどまりました。これにより、6年度に生まれた子どもが就学する13年4月の小学校の児童数(表3)は、現在の児童数(表2)と比較し、293人減少する見込みです。

2 少子化により避けて通れない学校の統合

6年度の出生数は、平成18年度が204人であったのに対し、令和6年度は57人(※2)にとどまりました。これにより、6年度に生まれた子どもが就学する13年4月の小学校の児童数(表3)は、現在の児童数(表2)と比較し、293人減少する見込みです。

※2市届け出分。出生後の異動のため、表3の1年計(※3)とは一致しない。

1 松尾地区3小学校統合の検討を開始

1回目の会議を5月に開催

市教育委員会は、松尾地区3小学校の将来的な統合について検討するため「松尾地区小学校統合検討委員会」を立ち上げました。5月27日に開いた1回目の会議では、松野小・寄木小・柏台小の保護者代表や地域の関係者など検討委員会の委員に委嘱状が交付されたほか、これまでの経緯や今後の進め方などについて、説明が行われました。



1「松尾小唄」の曲とともに入場し始まる松野小運動会の田植え踊りは、長年使われてきた音源に合わせて保護者や地域の人も参加する恒例のプログラム 2昭和49年5月に旧松尾村で開催された第25回全国植樹祭をきっかけに始まった寄木小の鼓笛隊 3柏台小が平成3年から取り組む八幡平太鼓の伝承活動。八幡平山賊まつりでも毎年披露されています

表1 松尾地区小学校統合の要望

R5.11 アンケートで統合の要望
西根・松尾地区の中学生以下の子どもを持つ保護者を対象に、小学校の統合について、アンケートを実施。松尾地区については69.1%が統合に賛成(反対は8.8%)という結果でした。また、学校統合を進めてほしいとの意見を複数いただきました。

R6.10 117人の署名入り要望書が提出
松尾地区3小学校の今後について、松尾地区の小学校に子どもを通わせる保護者から、6年10月25日付けで、小学校の統合をできる限り急いでほしい旨を内容とした117人の署名入りの要望書を、市教育委員会にいただいています。

R6.11 住民説明会で3小統合の要望
中学校統合の検討過程で行った6年11月の住民説明会において、中学校だけでなく松尾地区の小学校も統合を希望する旨の要望を受けました。

数度にわたり保護者から要望

市教育委員会ではこれまで、令和5年11月に行ったアンケートにより、小学校統合の必要性を感じる保護者の思いを把握し

今回の検討委員会の設置は子どもたちが切磋琢磨し、多様な学習活動を展開してほしいという保護者の思いを受けたものです。今回の検討委員会の設置は子どもたちが切磋琢磨し、多様な学習活動を展開してほしいという保護者の思いを受けたものです。受けました(表1)。

説明会の意見も踏まえ検討

検討委員会では、どのような統合小学校が望ましいかや、統合にかかる問題点について今後、検討を行います。また、7月上旬に松尾地区3小学校を会場に行う予定(※1)の住民説明会での意見なども踏まえ、検討委員会での議論を深めていきます。

※1 広報7月号発行日時点では開催済み

先行する中学校統合の検討

市教育委員会では現在、計画に基づき中学校の統合を優先し取り組んでいます。これまで西根・松尾地区中学校統合検討委員会などで議論を深め、7年3月には建設候補地を4カ所(表5)に絞り込みました。本年度は説明会や適地調査などを行い、年度内を目途に優先候補地の決定を目指します。

3 次代を担う子どもへより良い形でバトンを

かかわりを大事に力を育む

子どもを取り巻く環境は、少子化に加え、情報化社会の進展など、常に変化しており、予測困難です。このような時代を生き抜くためには、多様な価値観を持つ人と、意見を出し合い、尊重しながら解決策を見いだす力を育む必要があります。市教育委員会では、目の前の課題を先送りすることなく、現実に向き合い、次の世代により良い形でバトンを渡したいと考えています。

子どもたちの笑顔のために

子どもたちが、切磋琢磨しながら健やかに成長し、自分の可能性を広げられるよう、どのような教育環境を整えるべきか、保護者や地域の皆さんも一緒に、考えていきましょう。



4カ所に絞った西根・松尾地区統合中学校の候補地を説明(6月25日、西根第一中学校)